

## 日本ウマ科学会 2019年度定時総会 議事録

日時 : 2018年12月4日 11時10分から12時00分

場所 : KFC Hall & Rooms : KFC Hall

近藤庶務担当常任理事による開会の辞に続き、会則第20条に基づき青木会長が議長となり、2018年度定時総会が開催された。なお、議事録署名人に平賀・森両会員を指名した。

議題ⅠおよびⅡが一括上程された。

議題Ⅰ 2018年度事業報告(案)について

近藤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。

議題Ⅱ 2018年度収支決算(案)について

半澤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 正会員数および賛助会員数はほぼ横ばいで、会費収入もほぼ予算額どおりであった。
- 学術集会の参加者数が予想を大幅に上回ったため、参加費収入も予算額を上回った。
- 表彰特別会計の残高(726,547円)を全額一般会計に繰り戻し、口座は解約した。
- 事務作業のさらなる簡略化により、アルバイトの人件費が減少した。
- 学術誌の出版刊行費は7,162,983円(同127.2%)と予算額を大幅に上回った。これまで次年度会計に先送りとなっていた9月号分を年度内に支払ったため、2018年度は計5号分を支払ったことによる。
- 第30回学術集会の会場基本使用料(731,808円)は、昨年度(2017年度)会計から前払い済み。
- 国際交流促進事業(海外渡航支援)への応募はなかった。一方、WEVA(世界馬獣医師会議)から招待状が届いたため、桑原国際担当常任理事を派遣した。

次いで、監査報告が行われ、岩崎監事から2018年11月12日に業務監査した結果、事業が適正に運営されている旨の報告がなされた。

その後、議題ⅠとⅡは原案通り議決された。

議題ⅢとⅣが一括上程された。

議題Ⅲ 2019年度事業計画(案)について

近藤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。

議題Ⅳ 2019年度収支予算(案)について

半澤会計担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 学会会計を一般会計に一本化することを目的に、国際特別会計の残高の全額を一般

会計に繰り戻し、口座は解約する。これに伴い、新たに一般会計に「国際事業費支出」を計上する。

- 同様に、臨床特別会計の残高の一部を一般会計に繰り戻す。これに伴い、新たに一般会計に「企業展示収入」と「臨床委員会事業費支出」を計上する。また、現在準備中の「認定馬臨床獣医師制度」が正式に承認された段階で、臨床特別会計の口座を解約し、残額を「認定馬臨床獣医師制度準備金」に当てる。当該制度は、これを原資に学会会計からは独立して運営する予定。
- 現在の学会 HP は JRA 総研のサーバーを借用しているが、JRA 総研のサーバーの整理縮小に伴い、ここから離脱し、外部サーバーに移行する予定。この費用を広報費に計上している。
- 2019 年度より学術集会の会場使用料は事後一括精算となるため、当該年度内での支払いとなる。
- 臨床委員会主催のセミナーに外国人講師を 2 名招聘するため、講師交通費が例年よりも大幅増となっている。

その後、議題ⅢとⅣは原案通り議決された。

#### 議題Ⅴ 学会賞、奨励賞、功労賞の選考結果について

近藤庶務担当常任理事より、学会賞に高橋敏之会員、奨励賞に滄木孝弘会員、功労賞に田上正明会員が選考され、事前の臨時理事会で承認されたとの報告があった。

なお、定時総会終了後に表彰式を行った。

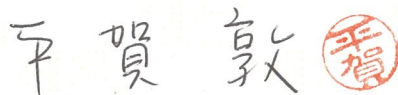
以上、議事の顛末を記録し、これを証するため署名押印する。

2018 年 12 月 5 日

議長

 貴

議事録署名人

 平賀敦

議事録署名人

 森達也